

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 27 年 8 月 25 日

設置・運営主体	越谷市		
設置主体	越谷市		
経営主体	越谷市		
事業所名 (施設名)	越谷市立登戸保育所	種別	保育所
所在地	〒 343-0846 埼玉県越谷市登戸町42-10		
電 話	048-987-7518		
FAX	048-987-7538		
Email	<a href="mailto:10073226@city.koshigaya.saitama.jp">10073226@city.koshigaya.saitama.jp</a>		
URL	<a href="http://www.city.koshigaya.saitama.jp">www.city.koshigaya.saitama.jp</a>		
施設長氏名	中村由美子		
調査対応担当者	中村由美子 (所属、職名：登戸保育所所長)		
利用定員	100 名	開設年	昭和 55 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【越谷市立保育所保育理念】</p> <p>◎すべての子どもを健やかで心豊かに育つよう支えます</p> <p>【越谷市立保育所保育方針】</p> <p>○子どもの人権や主体性を尊重します</p> <p>○すべての家庭の子育てと就労を支えます</p> <p>○地域の子育てを支援し異世代交流を深めます</p> <p>【登戸保育所保育目標】</p> <p>○健康な子</p> <p>○思いやりのある子</p> <p>○意欲的に行動し考える子</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	午前7時 ~ 午後7時		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		2
1歳児	12	13	1		3
2歳児	15	16	1		3
3歳児	22	23	2	11.5	2
4歳児	22	22	1		2
5歳児	23	23	1		2
計	100	103	7	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		22 人	
うち	保育士	18 人	保健師・看護師 1 人
	栄養士・調理員	2 人	その他（ 所務 ） 1 人
非常勤職員数		10 人	（常勤換算 6.6 人）
うち	保育士	3 人	（常勤換算 2.7 人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	1 人	（常勤換算 0.9 人）
	その他（ ）	6 人	（常勤換算 3 人）
<p>（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 人	非常勤： 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		36.9 歳	（ 38.5 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		2.52 年	（ 2.88 年）
<p>（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

（例）救護施設における通所事業（定員5名）

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	有	
延長保育	有	朝夕有料延長1回250円
休日保育	無	
障害児保育	有	
一時保育	無	
地域子育て支援センター	無	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	無	
アレルギー等対応給食	有	
その他(事業名: あそぼう会)	有	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 27 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

36 人

・ボランティアの業務

高校生ボランティア部: 半日、ゲームを通して交流(年2回)  
中学生チャレンジ: 2日間、乳幼児と一日を過ごして、保育所の役割と接し方を学ぶ  
小学校: 6年生が、午前中乳幼児と触れ合い、保育所について学ぶ

### 【実習生の受け入れ】

・平成 27 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 9 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	413.68 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	4.13 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	528 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	5.28 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	55年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

遠足、運動会、お楽しみ会後に、アンケート用紙を配布し、結果をお便りで公表している。玄関にご意見箱を置き、4月の懇談会で存在を知らせている。保育士は、何かあったらなるべく直接保護者に伝えるようにし、その際は相談しやすいゆったりした雰囲気でするように気をつけている。年度末に、保護者会と意見交換し、保護者会アンケートで寄せられた意見を検討、回答している。その結果は、次年度の活動計画に活かされている。

### 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・ 保育所全体で行う保育参観・試食会ではなく、保護者全員が一日保育士体験を行っている（平成25年度から）。子どもの様子、他の子どもとの関わり、給食・おやつなどを毎年経験することで、子どもの成長、栄養のバランスについて理解が深まっていく。  
・ 幼児組のいも煮会では、年長児の祖父母を招待し、一緒に子どもが作った芋汁を食べる交流を行っている。  
・ 幼児の誕生会では、保護者を招待し、子どもの誕生を一緒に楽しんでお祝いしている。  
・ 児童館ひまわりが近いので、特定の事業に参加させてもらっている。その際は、乳幼児で参加できるか検討し、出来る場合は異年齢で手をつなぎ行動している。  
・ 乳児組では、2月に自由参観の日を設け、成長した子どもたちの様子を、窓の外から見てもらい、その際に、進級に必要なことを保護者に知らせている。

### 【第三者評価の受審状況】

・ 受審回数（前回の受審時期）

\_\_\_\_\_ 0 \_\_\_\_\_ 回 （平成 \_\_\_\_\_ 年度）